2026年11月12日

各　位

会社名　　株式会社オルトプラスホールディングス
代表者名　　代表取締役　　石井　武
（コード番号：3672　東証スタンダード市場）
問い合わせ先　　取締役　　石原　優
（Tel．050-5306-9094）

2026年９月期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2026年９月期（2025年10月１日～2026年９月30日）の連結業績において、業績予想を開示しておりませんでしたが、前期実績値との差異が開示基準に達することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2026年９月期連結業績と前期実績との差異

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前期連結業績（A）（2025年９月期）	2,897	△467	△441	△434
当期連結業績（B）（2026年９月期）	2,568	△636	△1,191	△1,281
増減額（B－A）	△329	△169	△750	△846
増減率（%）	△11.4%	－	－	－

２．差異の理由

売上高につきましては、運営受託開発の減少によりゲーム事業収入が減少したこと、自社パブリッシングタイトル開発の拡充のために受託案件規模を縮小したことに伴いサービス開発事業収入が減少したこと、及び主要取引先であるゲーム会社の開発プロジェクトの見直し等により人材稼働数が減少したことに伴い技術・人材支援事業収入が減少したことにより、減少いたしました。

営業損失につきましては、技術・人材支援事業における人材稼働数の減少等に伴う外注加工費の減少等により売上原価が減少した一方で、売上高の減少額が売上原価の減少額を上回ったことにより売上総利益が減少したことから、赤字幅が拡大いたしました。

経常損失につきましては、上記に加え、持分法適用関連会社である株式会社オカザキホールディングスについて、同社の業績に基づく持分相当額の損失及びのれん相当額の償却を計上したことに加え、当社の個別財務諸表において同社株式の減損処理を行ったことに伴い、持分法による投資損失557,261千円を営業外費用に計上したことにより、赤字幅が拡大いたしました。

親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、上記に加え、最低保証料評価損 63,896 千円、減損損失 10,270 千円及び投資有価証券評価損 4,279 千円を特別損失に計上したことにより、赤字幅が拡大いたしました。

なお、持分法による投資損失及び減損損失の詳細につきましては、本日公表の「特別損失（関係会社株式評価損・減損損失）及び営業外費用（持分法による投資損失）の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

以上